

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 4 columns of neighborhood names: 相生町, 赤坂町1~3丁目, 曙町, 稲荷町, 入船町1~6丁目, 祝町, 浮洲町, 海辺町1・2番町, 烏帽子町, 翁町1・2丁目, 上大川前通10~12番町, 北毘沙門町, 寄附町, 窪田町1~7丁目, 寿町1・2丁目, 栄町1~3丁目, 魁町, 菅根町, 住吉町, 田中町, 忠蔵町, 附船町1~3丁目, 寺山町, 豊照町, 並木町, 西受地町, 西船見町, 西湊町通3・4ノ町, 舩川岸町, 早川町1~3丁目, 東入船町, 雲雀町, 船見町1・2丁目, 松岡町, 緑町, 湊町通り4ノ町, 室町1・2丁目, 元下島町, 柳島町2~4丁目, 山田町, 横七番町通1~5丁目, 東受地町, 本町通14番町, 元祝町, 夕栄町, 四ツ屋町1~3丁目, 寄合町, 西堀通9~11番町, 西堀前通10・11番町, 東堀通10~13番町, 二葉町2・3番町, 古町通10~13番町, 本町通12・13番町, 横六番町

●位置図



●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等, 警察・消防, 消防団, 水防倉庫, 一時避難場所, 広域避難場所, 主利な用要施設配設慮者 (幼稚園・保育園, 高齢者福祉施設, 障がい者福祉施設)

●人口

Table with population statistics: 総人口, 0~4歳, 5~14歳, 15~74歳, 75歳~, 65歳以上人口, 世帯数, 一世帯あたり人口, 人口密度, 昼間人口. Includes a pie chart showing age distribution: 0~4歳 (2.1%), 5~14歳 (5.2%), 15~74歳 (71.9%), 75歳~ (20.8%).

●建物関連指標

Table with building statistics: 総棟数, 木造 (S55年以前建築, S56年以降建築), 非木造 (S55年以前建築, S56年以降建築), S56年以降建築物. Includes a pie chart showing building type distribution: 木造 (90.9%), 非木造 (9.1%).

●地区内の避難所・津波避難ビルなど

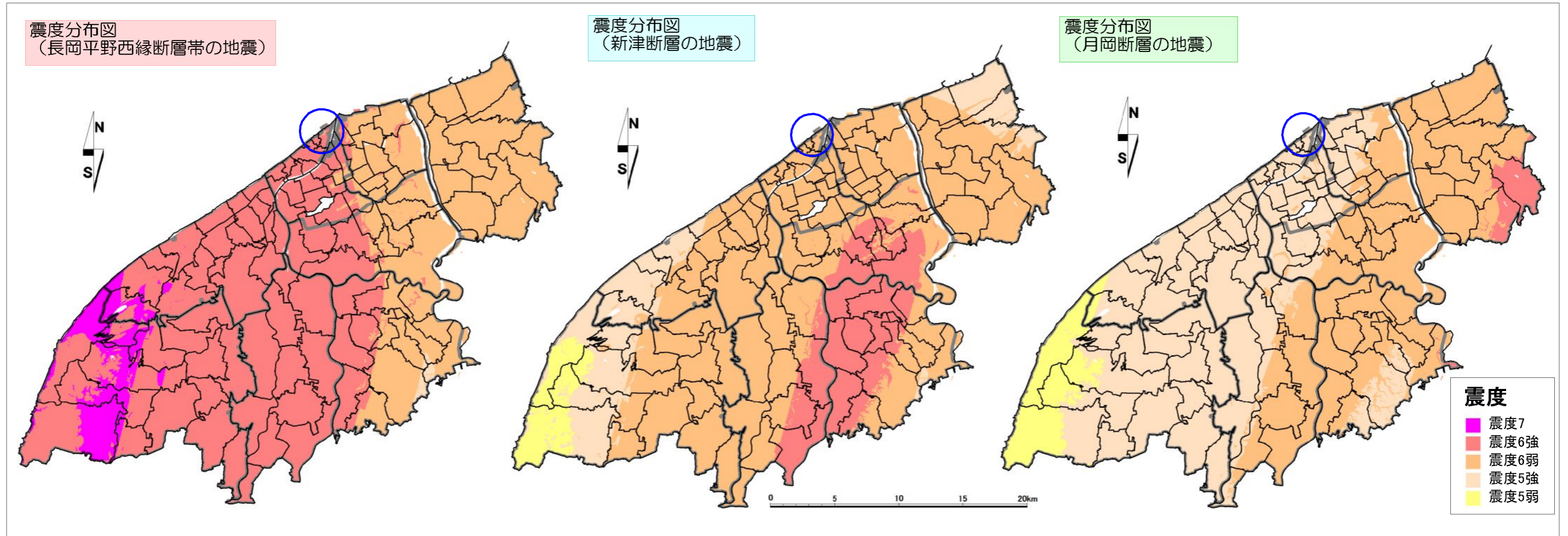
Table listing evacuation sites within the district: 施設名, 標高(m), 階数, 地震, 津波, 洪水, 土砂災害. Includes sites like 日和山小学校, 新潟柳都中学校, etc.

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites outside the district: 施設名, 標高(m), 階数, 地震, 津波, 洪水, 土砂災害. Includes sites like 新潟市教育相談センター, etc.

●災害危険性の評価

Table evaluating disaster risks: 地震 (津波), 水害 (土砂). Describes risks in the district, such as liquefaction and flooding.



	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

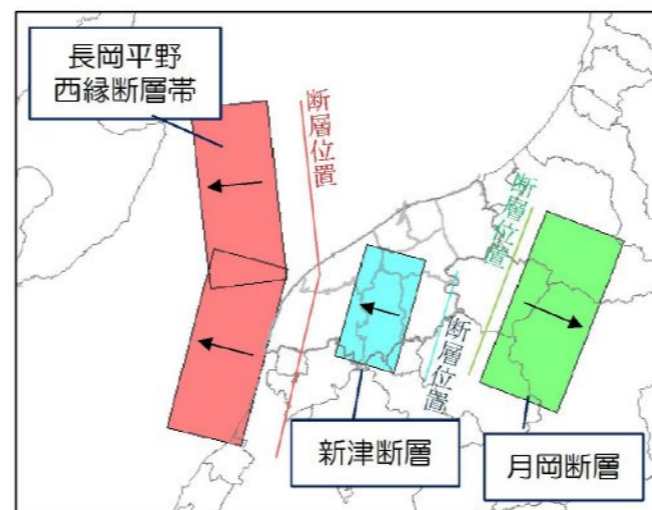
※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。

【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】

過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>

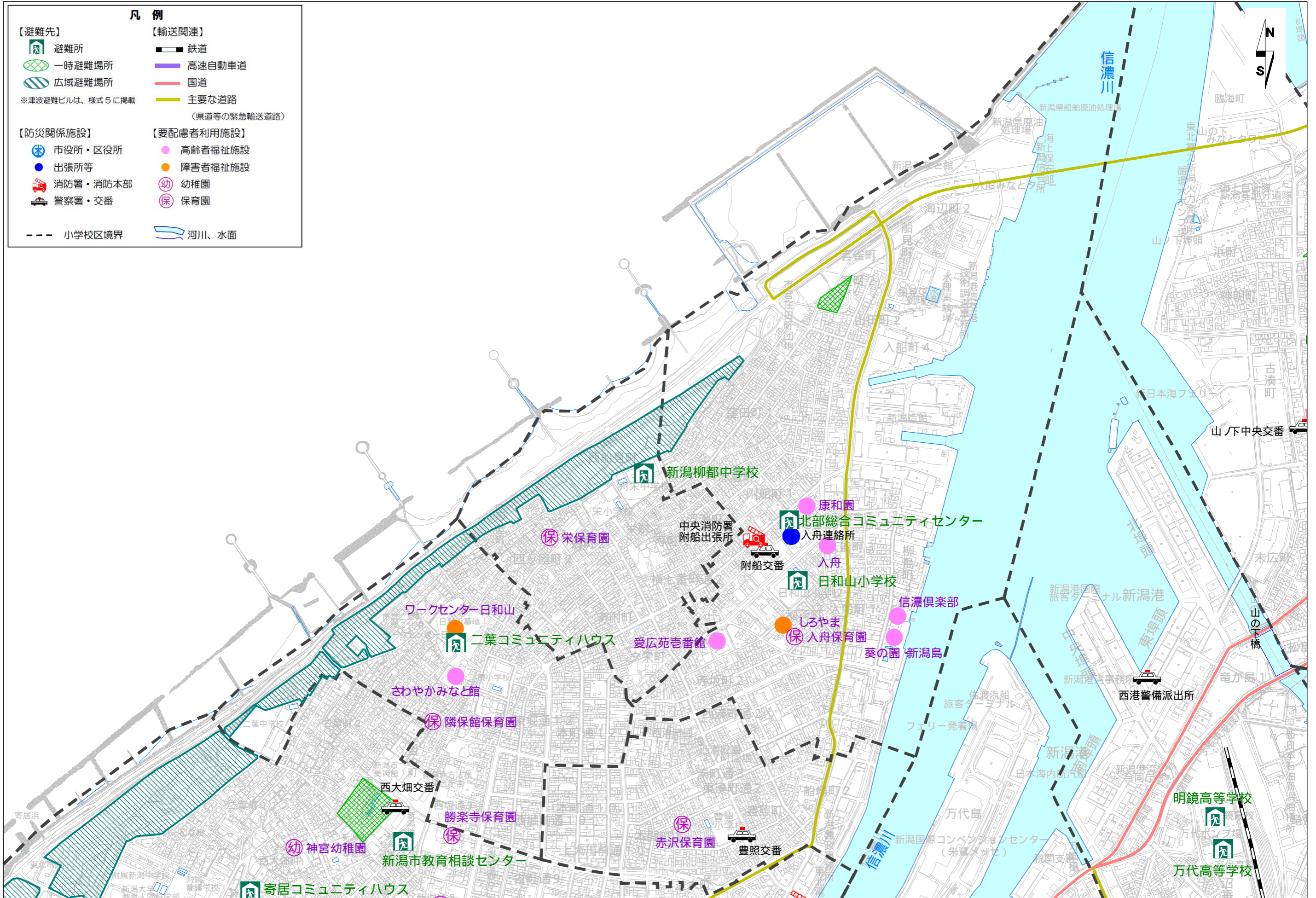
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。



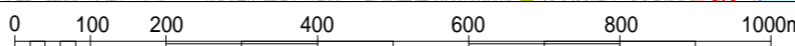
← は、断層の傾きを示しています。

様式3 防災地図

日和山小学校区



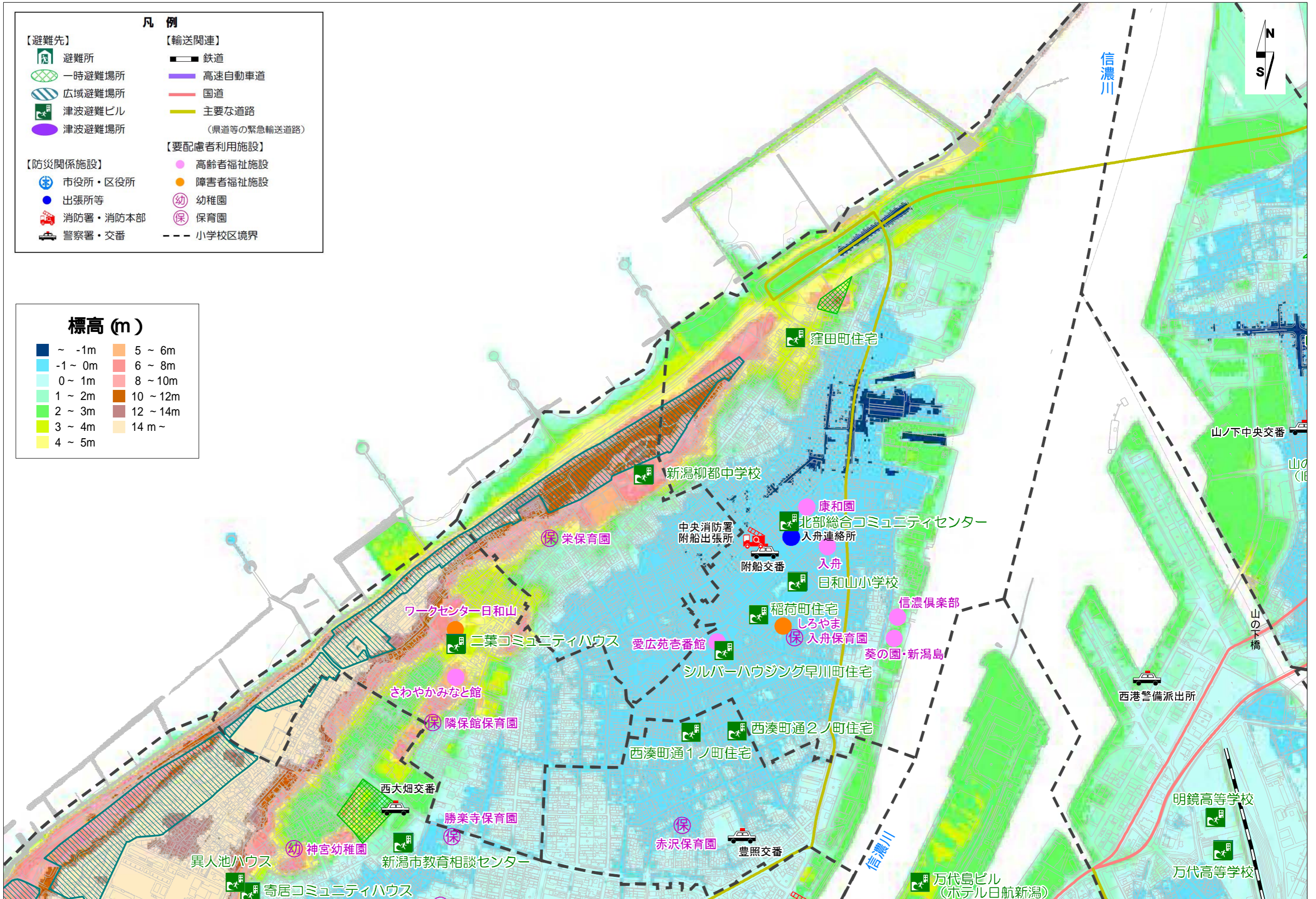
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)



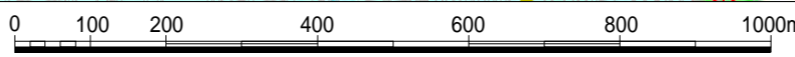


様式5 標高分布図

日和山小学校区

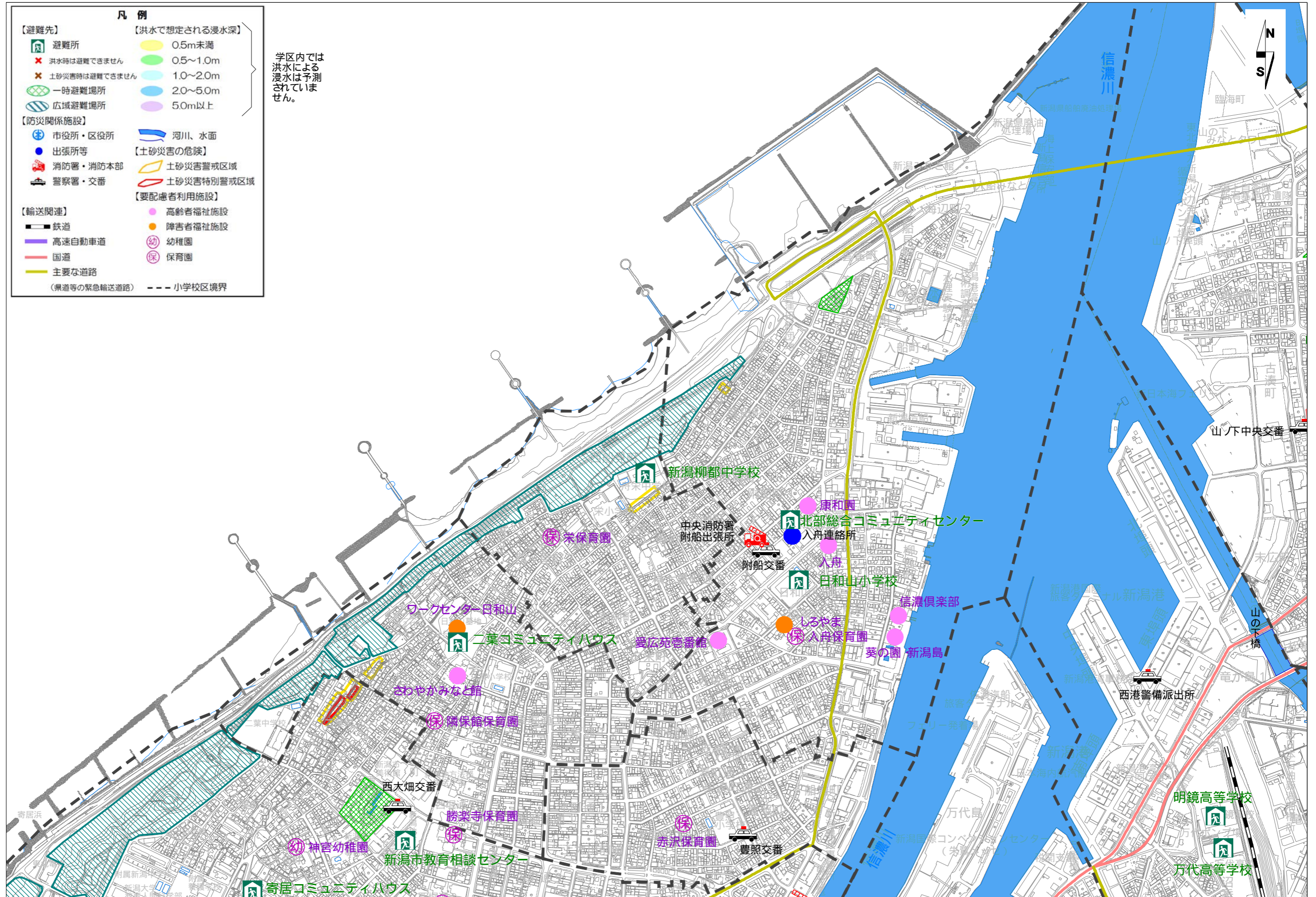


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



様式6 風水害（洪水・土砂災害）対策地図

日和山小学校区



[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)

